



残りの日々で、良い“しめくり”を！

3月に入ってから、日によっては寒暖差を感じる事が多く、正に“三寒四温”そのもののような毎日です。いよいよ本年度も、最後の月を迎えております。6年生は、もう残り9日(登校日をカウント)になりました。5年生以下の学年も、あと13日で学年末となります。

「コロナ収束後元年」と位置付けられる今年度、“新生・児島小”の確立を目標として、1年間学校運営を行ってまいりました。コロナ禍を経て、『子どもたちにとって本当に必要なもの』『過度な負担を強いることのないもの』『児童にとっても教職員にとっても実効性のあるもの』といった視点から、スリム化・効率化された学校行事や学年ごとの教育活動のベース(土台)を創り上げることはできたのではないかと感じております。来年度以降は、「令和6年度の実践」を基準として、より改良を加えたり、状況に応じての一部変更をしたりしながら、その時その時にふさわしいやり方を考えながらの運営になっていくと思われまふ。これから先も、マイナーチェンジを繰り返しながら“更に良い児島小”を求め続けてほしいと思っています。

令和7年度のスタートを迎えるまでに、まずは年度内にすべきことをきちんと終わらせ、「この1年間、よく頑張った！」と思えるような“しめくり”をしてほしいと思います。暖かくはなっても、風邪やインフルエンザ等への心配は日常的なものとなっています。体調面には十分気をつけて年度末の日々を過ごすことができるようよろしくお願いいたします。

最後の『参観日』お世話になりました。[2月19日・水]

先月19日に行われた参観日では、「授業参観」や「学年・学級懇談」に大勢の皆様のご来校・ご参加をいただき、誠にありがとうございました。それぞれの学年・学級で、1年間積み上げてきたこと(学習面・生活面)の成果をご覧いただけたのではないかと考えています。この1年間、機会あるごとに「落ち着いた様子」が継続しているということをお伝えしてきましたが、参観当日も正にその実態を見ていただけたのではないかと考えております。

『学校は楽しいところ』という大目標のもと、児小を「学びの場」「心を育てる場」として捉え、児童の様々な資質・能力を向上させるべく一生懸命に取り組んできた1年間でした。教育には明確なゴールはないので、100点満点を付けることはできませんが、児童へのアンケート結果等からも「満足感」や「達成感」を得ることができた1年間だったことがうかがえます。残り少なくなった日々を大切に過ごしながらしっかりとした締めくくりをし、今の雰囲気や次年度へと引き継げればと思っています。

写真

来年度も「学力向上」を第一目標にして頑張ります！

『読み語り』…今年度もありがとうございました。[2月19日・水、他]

1年間を通じて、読み語りボランティアの方々には大変お世話になりました。皆様方の優しい語り口調や、心を打たれる話の内容を、子どもたちはいつも楽しみにしております。絵本の世界って、引き込まれるような不思議な魅力がありますね！今年度の活動に対しまして、心より厚く御礼申し上げます。なお、来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

写真

この場をお借りして、登下校の見守りにあたってくださっている安全パトロール隊の皆様方にも、あらためて御礼を申し上げます。暑い日も寒い日も、温かな声かけと優しいまなざしで見守ってくださり、本当にありがとうございます！児島小学校は、「児童・教職員」を「保護者・地域の皆様方」が支える形で成り立っていると思っています。

*なお、次年度以降は、コロナ禍以降やや停滞している「教科学習を支援するためのボランティア(図画工作科や家庭科の補助や学年行事への引率等)」の依頼も増加させるかもしれません。ご都合が合えば、ご協力をお願いいたします。

6年生、今までありがとうございました！

在校生全員で、「感謝の気持ち」を伝え、 「中学校生活へのエール」を送りました。

「6年生を送る会」[2月28日・金]

先月末に、この時期、毎年行われている「6年生を送る会(卒業式には在校生が参加しないので、この会が卒業生と在校生とのお別れの会になります。昨年度から、体育館を会場としての対面形式を復活させています。)」を実施しました。5年生の運営委員会児童を中心に計画・準備を進め、全校児童と在校生とで、6年生を見送りました。

会のテーマは「6年生に感謝の思いを伝え、笑顔で応援しよう！」で、委員会活動をはじめとする様々な場面で学校のために尽くしてくれた6年生へのありがとうの気持ちと、中学校という新しい世界でもしっかりと活躍してくださいという、後輩として後押しする思いを、出し物や歌・プレゼントを通じて伝えました。会場いっぱいに温かな空気が流れ、送る側と送られる側とが一体となれるようなとても良い会でした。

写 真

6年生へ… “真の卒業生” となって最終日を迎えよう！

☆年度末に向けても、体調管理には十分気をつけるようにしてください。

2月の最終週に三日間、4年2組を学級閉鎖(インフルエンザでの出席停止者や風邪・発熱症状での欠席者が多数だったため)としました。強烈な寒波が到来した直後で、近隣学校においてもインフルエンザがはやっていたため、本校にも余波が押し寄せたのではないかと考えております。幸いに、3月になってから他学級・他学年への広がりは見られず、一安心しているところです。

気温もそこそこ上昇してきており、従来感覚であれば「もう、あまり風邪等ははやらないだろう。」と思いがちですが、近年はいつ・どんな病気が流行するか、予測が困難になっています。栄養状態の不備や睡眠不足等で体力が落ちているときには、ウイルスや病原菌への抵抗力が下がり、発症しやすくなります。また、学校のような集団生活の場で、基本的な感染予防措置をおろそかにすると、季節や気候状況に関係なく病気がまん延してしまいます。

コロナ禍を経たことで、社会全体に「日常的な感染予防の重要性」が、かなり浸透してきてはいますが、陽気な気候になるとついつい油断してしまいがちです。年度末から年度初めにかけても、これまで以上に体調管理・健康維持に留意するようにしなければならぬと思っております。学校でも児童への指導や呼びかけをいたしますので、ご家庭でもよろしく願います。

心身ともに健康な状態で“気持ちの良い春”を迎えましょう！

☆年度替わりです。「年度末の片付け」と並行した「新年度準備」を！

*実は、私も始めています。

あと1か月で、今の学年が終わります。とともに、その後10日間ほどで「新しい学年」のスタートになります。「学年が変わっても継続して使うものや補充しておかなければならないもの」と「もう使わない不要となるもの」の仕分けをしながら、**用品の整理**をしてみてください。

年度替わりには、気持ちの切り替えは当然大切ですが、**環境整備**もとても重要です。学年が一つ上がっても何も整えられておらず、「新たな始まり感」を感じられないままで惰性のような状況でのスタートになると、あまり良い結果にはつながらないように思います。

子どもたちにとって、環境面からも心機一転できるような「良い刺激」が与えられるといいですね。

★19日と26日がみんなにとって「**良い最終日**」になりますように！